

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	08	02	02	184040	生活道路維持事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		927,622	821,316		-106,306
財源内訳	国費	74,411	64,549		-9,862
	県費	0	0		0
	地方債	123,800	100,600		-23,200
	その他	2,874	3,567		693
	一般財源	726,537	652,600		-73,937

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間	単年度繰返	期間限定	平成31年度	~	平成31年度
------	-------	------	--------	---	--------

部重点施策における目標

安全で利便性の高い道路の整備を進める。

事業開始の背景・経緯

市道管理は道路管理者である花巻市が行うものであり、生活道路を安全に利用出来るよう維持管理を行う。

事業概要

市道維持管理（舗装修繕、除雪等）

担当部署	16200000 建設部 道路	担当課長	重茂 猛
------	-----------------	------	------

意見・要望等の状況

--

事業手法の詳細1

市道の維持管理 821,316千円

- 道路補修、路面・側溝清掃、除雪等業務
- ・オーバーレイ補修（13箇所） 44,964千円
- ・路面補修（クラック・段差・沈下・穴）、道路施設補修（側溝・照明・法面・防護柵） 167,949千円
- ・路面・側溝・暗渠清掃 4,479千円
- ・施設保守点検（照明・排水ポンプ） 2,802千円
- ・融雪装置点検補修（花巻駅通り、里川口上町ほか） 36,200千円
- ・緑地等管理（街路樹・法面路肩除草・害虫駆除・支障木伐採） 42,966千円
- ・除雪（延長 1,887km） 188,799千円
- ・補修資材（碎石・側溝・ガードレール等） 16,092千円
- ・凍結防止剤、消耗品等 15,476千円

- 道路照明・融雪施設電気料、建設機械修繕、燃料等 道路維持に係る諸経費
- ・電気・水道・通信料（道路照明・融雪施設・排水ポンプ電気料等） 27,392千円
- ・車両経費（タイヤ・チェーン等消耗品、燃料代、車両借上料、車検代） 21,611千円
- ・修繕料（道路照明、建設機械・パトロールカー等） 27,757千円
- ・道路賠償責任保険（延長 3,467km） 5,290千円
- ・その他（汚泥処理手数料、土地借上料等） 4,266千円

- 作業員・運転手・事務補助員 21,147千円
- ・作業員 3人（大迫3）
- ・運転手 7人（花巻3、大迫2、石鳥谷1、東和1）
- ・事務補助員 2人（花巻1、大迫1）
- ・一般事務嘱託員 2人（大迫1、石鳥谷1）

建設機械の購入 1,821千円

- ・フォークリフト

市道の維持工事 189,232千円

- ・舗装長寿命化工事
- ・方八丁融雪修繕工事
- ・林道細野線法面復旧工事
- ・市道本館8号線外道路拡幅工事

除雪費計算システム 1,093千円

道路管理システム 1,980千円

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	08	02	03	184070	生活道路整備事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		874,126	1,092,771		218,645
財源内訳	国費	187,396	256,395		68,999
	県費	0	0		0
	地方債	592,400	762,800		170,400
	その他	0	0		0
	一般財源	94,330	73,576		-20,754

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標

安全で利便性の高い道路の整備を進める

事業開始の背景・経緯

交通の中心が車となったことにより、道路整備が求められるようになる。

事業概要

生活道路整備  
測量設計、用地測量、支障物件調査算定等の業務委託、道路改良舗装工事、現道舗装工事、側溝整備工事、防雪柵整備工事、事業用地買収、支障物件移転補償、電柱・水道等移転補償

【30年度】  
道路改良（41路線）、現道舗装（3路線）、側溝整備（16路線）、防雪柵整備（2路線）

【31年度】  
道路改良（41路線）、現道舗装（2路線）、側溝整備（15路線）、防雪柵整備（2路線）

担当部署	16200000 建設部 道路	担当課長	重茂 猛
------	-----------------	------	------

意見・要望等の状況

土木施設整備要望等

事業手法の詳細1

【令和元年度】  
新設改良 令和元年度事業費 691,942千円  
41路線 うち完了路線 3路線  
完成延長 L=1.4km

現道舗装 令和元年度事業費 10,581千円  
2路線 うち完了路線 2路線  
完成延長 L=0.3km

側溝整備 令和元年度事業費 126,177千円  
15路線 うち完了路線 5路線  
完成延長 L=1.3km

雪寒対策 令和元年度事業費 102,408千円  
2路線 うち完了路線 1路線  
完成延長 L=0.5km

ほか山の神諏訪線(第1工区)樹木伐採処分等業務委託等 5,471千円

R1 R2繰越事業 362,110千円 9路線  
新設改良 212,110千円 7路線

側溝整備 150,000千円 2路線

事業費の表の「当該年度決算額」は、当該年度事業費と前年度繰越事業費の合計額です。

平成 31 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T	事業名
一般	08	02	03	188590	生活道路整備事業(繰越)

単位：千円

		30年度 決算額(A)	31年度 決算額(B)	次年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		1,052,960	156,192		△ 896,768
財 源 内 訳	国・県	208,589	16,897		△ 191,692
	地方債	737,600	134,200		△ 603,400
	その他				
	一般財源	106,771	5,095		△ 101,676

※特定財源の内訳

<ul style="list-style-type: none"> <li>国/社会資本整備総合交付金</li> <li>地方債/過疎対策事業債</li> </ul>	合併特例債	公共事業等債	辺地対策債
--	-------	--------	-------

事業期間	<input type="radio"/> 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-----------------------------	------	-----------------

部重点施策における目標

安全で利便性の高い道路の整備を進める

事業開始の背景・経緯

交通の中心が車となったことにより、道路整備が求められるようになる。

事業概要

○生活道路整備  
 測量設計、用地測量、支障物件調査算定等の業務委託  
 道路改良舗装工事、現道舗装工事、側溝整備工事、防雪柵整備工事  
 事業用地買収、支障物件移転補償、電柱・水道等移転補償

【30年度】  
 道路改良(41路線)、現道舗装(3路線)、側溝整備(16路線)、防雪柵整備(2路線)

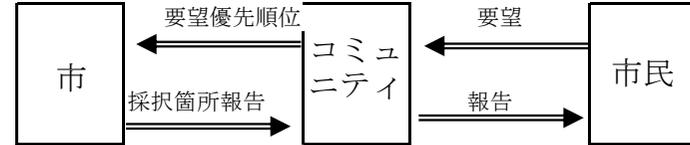
【31年度】  
 道路改良(41路線)、現道舗装(2路線)、側溝整備(15路線)、防雪柵整備(2路線)

意見・要望等の状況(市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等)

土木施設整備要望等

担当部署 部名 建設部 課名 道路課 担当課長 重茂 猛 (単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



- 【30年度】
- 道路改良 平成30年度事業費 634,635千円  
 34路線 うち完了路線 2路線  
 完成延長 L= 1.0km
  - 現道舗装 平成30年度事業費 13,098千円  
 3路線 うち完了路線 2路線  
 完成延長 L= 0.5km
  - 側溝整備 平成30年度事業費 127,639千円  
 15路線 うち完了路線 1路線  
 完成延長 L= 1.0km
  - 防雪柵整備 平成30年度事業費 81,252千円  
 2路線 うち完了路線 0路線  
 完成延長 L= 0.4km
- ほか法面・土工構造物長寿命化計画策定等 17,502千円
- 〈H30繰越事業〉 8路線 156,192千円 (161,422千円) ( )内繰越予算
- 道路改良 118,827千円  
 5路線 うち完了路線 0路線  
 完成延長 L= 0.3km
  - 側溝整備 18,506千円  
 2路線 うち完了路線 0路線  
 完成延長 L= 0.2km
  - 防雪柵整備 18,859千円  
 1路線 うち完了路線 0路線  
 完成延長 L= 0.2km

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	08	02	03	184090	花巻スマートインターチェンジ整備事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		0	2,326		2,326
財源内訳	国費	0	1,155		1,155
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	0	1,171		1,171

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間	単年度繰返	期間限定	平成31年度	~	平成31年度
------	-------	------	--------	---	--------

部重点施策における目標

安全で利便性の高い道路の整備を進める。

事業開始の背景・経緯

市道山の神諏訪線の整備が進み、当該地区の利便性が向上することに伴い東北縦貫自動車道花巻パーキングエリアにスマートインターチェンジを整備するものである。

事業概要

地区協議会の開催、実施計画書の作成、提出

担当部署	16200000 建設部 道路	担当課長	
------	-----------------	------	--

意見・要望等の状況

--	--	--	--

事業手法の詳細 1

地区協議会の開催  
協議会委員報酬 4人 × @4,000円 = 16,000円

埋蔵文化財試掘調査範囲の測量  
花巻PAスマートIC予定地測量業務委託 2,310,000円

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	08	02	04	184100	橋梁維持事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		206,945	676,050		469,105
財源内訳	国費	114,496	373,818		259,322
	県費	0	0		0
	地方債	36,400	242,700		206,300
	その他	0	0		0
	一般財源	56,049	59,532		3,483

特定財源の内訳

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標

安全で利便性の高い道路の整備を進める

事業開始の背景・経緯

橋梁の老朽化対策として修繕工事している。ここ数年で耐用年数を超える橋梁が一気に増加するので、橋梁長寿命化修繕計画を策定し、それに基づき事業を展開している。

事業概要

橋梁維持事業 : 橋梁点検、橋梁予備設計、橋梁補修設計、橋梁補修工事  
**【平成30年度】**  
 橋梁定期点検 149橋(L 15m:144橋+JR橋5橋)  
 橋梁補修設計 12橋(花川橋、絹川大橋、高瀬橋、熊堂橋、新大曲橋、松雲台橋、新川2号橋、安野川3号橋、八合田橋、浮田橋、猫塚橋、林崎橋)  
 橋梁補修工事 3橋(野田橋、松園橋、天下田橋)  
**【令和元年度】**  
 橋梁定期点検 247橋(L<15m:244橋,L 15m:1橋+NEXCO橋2橋)  
 橋梁補修設計 14橋(留ヶ森三の橋、合沢一号橋、迫橋、野金山橋、立沢橋、下西沢橋、猪鼻4号橋、山屋4号橋、白金沢橋、朴ノ木沢2号橋、母衣輪1号橋、母衣輪3号橋、平良木2号橋、平良木3号橋)  
 橋梁補修工事 6橋(留ヶ森三の橋、合沢一号橋、迫橋、熊堂橋、新川2号橋、八合田橋)

担当部署	16200000 建設部 道路	担当課長	重茂 猛
------	-----------------	------	------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

**【令和元年度】**  
 橋梁維持事業  
 事業費 215,379千円(国費:118,096千円、地方債:71,000千円、一般財源:26,283千円)

- ・橋梁定期点検(47,324千円)  
247橋(L>15m:244橋、L 15m:1橋+NEXCO橋2橋)

- ・橋梁補修設計及び積算委託(70,269千円)

補修設計 14橋  
 留ヶ森三の橋、合沢一号橋、迫橋、立沢橋、野金山橋、下西沢橋、猪鼻4号橋、山屋4号橋、白金沢橋、朴ノ木沢2号橋、母衣輪1号橋、母衣輪3号橋、平良木2号橋、平良木3号橋

積算委託 2橋  
 熊堂橋、八合田橋

- ・橋梁補修工事(95,603千円)  
留ヶ森三の橋、合沢一号橋、迫橋、熊堂橋、新川2号橋、八合田橋

- ・支障物件移転補償(1,850千円)  
NTT、電力等

- ・橋守事業 事務費(333千円)

**【令和元年度 令和2年度 繰越事業】**  
 橋梁維持事業  
 事業費 27,780千円(国費:15,004千円、地方債:12,100千円、一般財源:676千円)

- ・橋梁補修工事(27,280千円)  
留ヶ森三の橋、合沢一号橋、迫橋、八合田橋

- ・橋梁補修設計(500千円)  
八合田橋

事業費の表の「当該年度決算額」は、当該年度事業費と前年度繰越事業費の合計額です。

平成31年度事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	08	02	04	188650	橋梁維持事業(繰越)

単位：千円

		30年度 決算額(A)	31年度 決算額(B)	次年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		206,945	460,671		253,726
財源内訳	国・県	114,496	255,722		141,226
	地方債	36,400	171,700		135,300
	その他				
	一般財源	56,049	33,249		△ 22,800

※特定財源の内訳

- ・国/社会資本整備総合交付金
- ・地方債/公共事業等債、合併特例債、過疎債

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------	------	-----------------

部重点施策における目標

安全で利便性の高い道路の整備を進める

事業開始の背景・経緯

橋梁の老朽化対策として修繕工事を実施している。ここ数年で耐用年数を超える橋梁が増加する傾向にあるため、橋梁長寿命化修繕計画を策定し、計画に基づいた事業展開を目標としている。

事業概要

○橋梁維持事業  
橋梁点検、橋梁予備設計、橋梁補修設計、橋梁補修工事

【平成30年度】

橋梁定期点検 149橋 (L≥15m:144橋+JR橋5橋)、橋梁補修設計 12橋(花川橋、絹川大橋、高瀬橋、熊堂橋、新大曲橋、松雲台橋、新川2号橋、安野川3号橋、八合田橋、浮田橋、猫塚橋、林崎橋)  
橋梁補修工事 3橋(野田橋、松園橋、天下田橋)

【令和元年度】

橋梁定期点検 247橋 (L<15m:244橋、L≥15m:1橋+NEXCO橋2橋)  
橋梁補修設計 14橋(留ヶ森三の橋、合沢一号橋、迫橋、野金山橋、立沢橋、下西沢橋、猪鼻4号橋、山屋4号橋、白金沢橋、朴ノ木沢2号橋、母衣輪1号橋、母衣輪3号橋、平良木2号橋、平良木3号橋)  
橋梁補修工事 6橋(留ヶ森三の橋、合沢一号橋、迫橋、熊堂橋、新川2合橋、八合田橋)

意見・要望等の状況(市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・発言)

担当部署 部名 建設部 課名 道路課 担当課長 重茂 猛

(単位：千円)

【事業手法の詳細】…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

【平成30年度】

事業	事業費 千円	国費 千円	地方債 千円	一般財源 千円
(補修設計)花川橋	7,225	4,013	3,000	212
(補修設計)絹川大橋	7,884	4,379	3,300	205
(補修設計)高瀬橋	7,268	4,037	3,200	31
(補修設計)熊堂橋+新大曲橋+松雲台橋	22,237	12,351	9,000	886
(補修設計)新川2号橋+安野川3号橋+八合田橋	16,622	9,188	4,300	3,134
(補修設計)浮田橋+猫塚橋+林崎橋	21,093	11,715	8,800	578
(定期点検)東和・大迫地区橋梁点検	45,824	25,455		20,369
(定期点検)花巻・石鳥谷地区橋梁点検	47,207	26,223		20,984
(定期点検)JR跨線橋	18,396	10,219		8,177
(橋守事業)日常点検	337			337
(修繕工事)野田橋+松園橋+天下田橋	12,852	6,916	4,800	1,136
	千円	千円	千円	千円
合計	206,945	114,496	36,400	56,049

【平成30年度→令和元年度 繰越事業】

事業	事業費 千円	国費 千円	地方債 千円	一般財源 千円
(補修設計)万代橋+中央橋+新愛宕橋+穴沢跨線橋	44,636	24,796	16,700	3,140
(補修設計)井戸向橋	76,715	42,615	32,300	1,800
(計画策定)橋梁長寿命化修繕計画	30,013	16,672		13,341
(修繕工事)花川橋	38,749	21,525	15,300	1,924
(修繕工事)高瀬橋	11,740	6,522	5,100	118
(修繕工事)絹川大橋	77,104	42,831	31,500	2,773
(修繕工事)松雲台橋	2,923	1,443	1,400	80
(修繕工事)新大曲橋	35,272	19,594	14,500	1,178
(修繕工事)浮田橋	25,668	14,258	10,100	1,310
(修繕工事)猫塚橋	18,600	10,332	7,000	1,268
(修繕工事)林崎橋	24,275	13,485	9,000	1,790
(修繕工事)大沢橋	34,837	19,352	13,400	2,085
(修繕工事)横枕橋	35,084	19,489	13,400	2,195
(修繕工事)安野川3号橋	5,055	2,808	2,000	247
	千円	千円	千円	千円
合計	460,671	255,722	171,700	33,249

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	08	02	05	184160	交通安全環境整備事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		191,236	338,999		147,763
財源内訳	国費	79,962	149,443		69,481
	県費	0	0		0
	地方債	65,400	129,000		63,600
	その他	0	0		0
	一般財源	45,874	60,556		14,682

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標
安全で利便性の高い道路の整備を進める

事業開始の背景・経緯
歩行者の安全確保のため、歩道の 신설、バリアフリー化を実施している。現在は各地域、障がい者団体等の要望に基づき、それぞれのニーズに応える手法により事業を展開している。

事業概要
交通安全施設整備測量設計、用地測量、支障物件調査算定等の業務委託 電線地中化事業設計委託等、歩道整備工事 事業用地買収、支障物件移転補償、電柱・水道等移転補償 【30年度】・歩道整備工事 954m(城内大通り一丁目線(花城町工区)、城内大通り一丁目線(城内工区)、御田屋町鍛冶町線外2路線、上町成田線(南城工区)、上小舟渡方八丁線) バリアフリー等(吹張町滝ノ沢線、上台朝日橋線) 7路線 ・電線共同溝 210m(上町花城町線) 1路線 ・融雪設備 14m(上町成田線) 1路線 【31年度】・歩道整備工事 912m(城内大通り一丁目線(城内工区)、御田屋町鍛冶町線外2路線、上町成田線(南城工区)、上小舟渡方八丁線) バリアフリー等(吹張町滝ノ沢線、上台朝日橋線) 6路線 ・電線共同溝 (上町花城町線、城内大通り一丁目線) 2路線

担当部署	16200000 建設部 道路	担当課長	重茂 猛
------	-----------------	------	------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1
【令和元年度】 ・交通安全施設整備 8路線 城内大通り一丁目線(城内工区)、御田屋町鍛冶町線外2路線、上町成田線(南城工区)、上小舟渡方八丁線、吹張町滝ノ沢線、上台朝日橋線、上町花城町線(電線共同溝)、城内大通り一丁目線(電線共同溝)  事業費 219,806千円 委託料 54,472千円 内交通安全施設整備委託 22,540千円 工事費 111,872千円 用地費 18,554千円 補償費 34,908千円  委託料(各支所分) 24,903千円 ・大迫支所 10,475千円 ・石鳥谷支所 9,509千円 ・東和支所 4,919千円  R1 R2線越事業 141,698千円 5路線 城内大通り一丁目線(城内工区)、吹張町滝ノ沢線、上台朝日橋、上小舟渡方八丁線、上町花城町線(電線共同溝)

事業費の表の「当該年度決算額」は、当該年度事業費と前年度繰越事業費の合計額です。

平成 31 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	08	02	05	188620	交通安全環境整備事業(繰越)

単位：千円

		30年度 決算額(A)	31年度 決算額(B)	次年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		291,300	94,290		△ 197,010
財源内訳	国・県	124,498	48,992		△ 75,506
	地方債	106,700	41,100		△ 65,600
	その他				
	一般財源	60,102	4,198		△ 55,904

※特定財源の内訳

- ・国/社会資本整備総合交付金
- ・地方債/公共事業等債 合併特例債

事業期間	○ 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---------	------	-----------------

部重点施策における目標

安全で利便性の高い道路の整備を進める

事業開始の背景・経緯

歩行者の安全確保のため、歩道の新設、バリアフリー化を実施している。現在は各地域、障がい者団体等の要望に基づき、それぞれのニーズに応える手法により事業を展開している。

事業概要

○交通安全施設整備測量設計、用地測量、支障物件調査算定等の業務委託

電線地中化事業設計委託等、歩道整備工事

事業用地買収、支障物件移転補償、電柱・水道等移転補償

【30年度】・歩道整備工事 954m (城内大通り一丁目線(花城町工区)、城内大通り一丁目線(城内工区)、御田屋町鍛冶町線外2路線、上町成田線(南城工区)、上小舟渡方八丁線) バリアフリー等(吹張町滝ノ沢線、上台朝日橋線) 7路線

・電線共同溝 210m(上町花城町線) 1路線 ・融雪設備 14m(上町成田線) 1路線

【31年度】・歩道整備工事 912m (城内大通り一丁目線(城内工区)、御田屋町鍛冶町線外2路線、上町成田線(南城工区)、上小舟渡方八丁線) バリアフリー等(吹張町滝ノ沢線、上台朝日橋線) 6路線

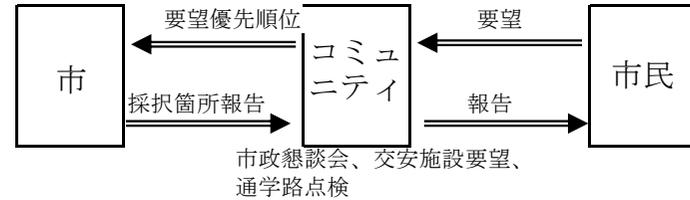
・電線共同溝 (上町花城町線、城内大通り一丁目線) 2路線

意見・要望等の状況(市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等)

担当部署 部名 建設部 課名 道路課 担当課長 重茂 猛

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



【30年度】

- ・交通安全施設整備 9路線

城内大通り一丁目線(花城町工区)、御田屋町鍛冶町線外2路線、上町成田線(南城工区)、吹張町滝ノ沢線、上台朝日橋線、上町花城町線(電線共同溝)、上町成田線(融雪設備)

事業費	170,744千円
委託料	40,237千円
内交通安全施設整備委託	22,362千円
工事費	115,410千円
用地費	0千円
補償費	15,097千円

委託料 (各支所分)	
・大迫	10,340千円
・石鳥谷	5,485千円
・東和	4,957千円
合計	20,782千円

〈H30繰越事業〉 5路線 94,290千円 (94,970千円) ( )内繰越予算

- ・委託料 9,481千円
- 城内大通り一丁目線(城内工区)

- ・工事費 80,362千円
- 城内大通り一丁目線(花城町工区) 14,038千円
- 上町花城町線(電線共同溝) 42,037千円
- 吹張町滝ノ沢線 9,759千円
- 上台朝日橋線 14,528千円

- ・用地費 4,447千円
- 城内大通り一丁目線(城内工区)

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	08	02	01	184600	道の駅整備事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		109,925	415,348		305,423
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	54,400	237,500		183,100
	その他	10,000	78,723		68,723
	一般財源	45,525	99,125		53,600

特定財源の内訳

事業期間	単年度繰返	期間限定	平成31年度 ~ 平成31年度
------	-------	------	-----------------

部重点施策における目標

安全で利便性の高い道路の整備を進める

事業開始の背景・経緯

平成26年2月に西南地域振興協議会から要望書が提出され、実施について検討を開始。平成29年3月に花巻市「(仮称)西南道の駅」基本構想を策定。平成29年度は基本設計、平成30年度は実施設計を行う。

事業概要

非常勤報酬  
 社会保険  
 整備検討委員会報酬  
 手数料  
 建築監理等業務  
 土木(造成)工事  
 建築工事  
 農業集落排水分担金  
 上水道加入負担金  
 出資金

担当部署	16200000 建設部 道路	担当課長	重茂 猛
------	-----------------	------	------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

【R1事業】

非常勤報酬 636,197円  
 道の駅整備推進員  
 社会保険 97,632円  
 道の駅整備推進員  
 整備検討委員会報酬等 36,000円  
 名称・愛称選考委員会委員報酬等  
 手数料 10,000円  
 上水道設計審査・工事検査手数料  
 建築監理等業務委託 8,939,380円  
 土木工事 86,025,500円 施工面積で市・県負担  
 造成(三期)工事  
 建築工事 248,492,200円 2  
 新築(建築)工事 133,080,200円  
 新築(電気設備)工事 63,052,000円  
 新築(機械設備)工事 52,360,000円  
 農業集落排水分担金 27,439,240円 2  
 上水道加入負担金 192,500円 2  
 出資金 5,000,000円  
 株式会社はなまき西南出資金

【H30 R1繰越事業】

土木工事 38,478,900円 施工面積で市・県負担  
 造成(二期)工事

整備概要

整備面積内訳 1

市	5,406㎡	37.8%
県	2,813㎡	19.7%
市(コンビニ等)	6,083㎡	42.5%
計	14,302㎡	100.0%

建物面積内訳 2

市	702.27㎡	73.8%
県	249.33㎡	26.2%
計	951.60㎡	100.0%

道の駅整備面積内訳 3

市	5,406㎡	65.8%
県	2,813㎡	34.2%
計	8,219㎡	100.0%

事業費の表の「当該年度決算額」は、当該年度事業費と前年度繰越事業費の合計額です。

平成31年度事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-1	事業名
一般	08	02	01	188050	道の駅整備事業(繰越)

単位：千円

		30年度 決算額(A)	31年度 決算額(B)	次年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		109,925	38,479		△ 71,446
財源 内訳	国・県				
	地方債	54,400	20,200		△ 34,200
	その他	10,000			△ 10,000
	一般財源	45,525	18,279		△ 27,246

※特定財源の内訳

地方債：54,900（合併特例債 充当率95%）  
その他：10,000（雑入：岩手県負担分）

事業期間	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-------	------	-----------------

部重点施策における目標

安全で利便性の高い道路の整備を進める

事業開始の背景・経緯

平成26年2月に西南地域振興協議会から要望書が提出され、実施について検討を開始した。  
平成28年3月に花巻市「（仮称）西南道の駅」基本構想を策定。  
平成29年度に基本設計を実施。

事業概要 …目的を実現するための事業手法を記載すること

- 道の駅整備に向けた実施設計及び用地取得等 82,379千円
- 造成工事等 27,530千円
- プロポーザル選考委員会報酬 16千円

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

担当部署 部名 建設部 課名 道路課 担当課長 重茂 猛

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

【整備概要】

○整備面積内訳

整備主体	面積(m <sup>2</sup> )	構成比
市	5,406	37.8%
県	2,813	19.7%
市(コンビニ等)	6,083	42.5%
計	14,302	

○建物面積内訳

整備主体	面積(m <sup>2</sup> )	構成比
市	702.27	73.8%
県	249.33	26.2%
計	951.60	

○道の駅面積内訳

整備主体	面積(m <sup>2</sup> )	構成比
市	5,406	65.8%
県	2,813	34.2%
計	8,219	

【30年度】

○事業費内訳

109,925千円

- ・実施設計業務委託（土木設計） 37,984千円
- ・実施設計業務委託（建築設計） 18,360千円
- ・登記測量業務委託 3,450千円
- ・航空写真撮影業務委託 43千円
- ・工事費（造成（一期）工事） 13,891千円
- ・工事費（パイプライン移設工事） 13,639千円
- ・用地取得費（隣接地含） 9,977.22m<sup>2</sup> 22,542千円
- ・整備検討委員報酬（@4,000円×4名） 16千円

○財源内訳

県負担金：10,000千円（不足分は翌年度以降で調整）

地方債：54,400千円（合併特例債 充当率95% 交付税措置70%）

	起債対象外	起債対象	起債対象計算
土木実施設計	23,627	14,357	37,984千円×37.8%（整備面積案分）
建築実施設計	4,811	13,549	18,360千円×73.8%（整備面積案分）
登記測量	2,146	1,304	3,450千円×37.8%（整備面積案分）
航空写真撮影	43		
造成（一期）工事	3,640	10,251	13,891千円×73.8%（建物部分のみ施工）
パイプライン移設工事	4,669	8,970	13,639千円×65.8%（整備面積案分）
用地取得費	12,071	10,471	
委員報酬	16		
計	51,023	58,902	←95% 55,900千円

【平成30年度→令和元年度繰越事業】 38,479千円

- ・工事費（造成（二期）工事） 38,479千円

	起債対象外	起債対象	起債対象計算
造成（二期）工事	17,211	21,268	施工面積案分

↑ 95% 20,200千円